

鉄道構造物における剥落事象の報告一覧(平成25年1月25日付事務連絡)(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

発見・通報年月日	構造物名称・剥落部位	落下場所	落下物	推定総重量(kg)	大きさ(長さ×幅×厚さ)(mm)	推定原因	事業者名	路線名	位置
H24.1.5	第一北長瀬高架橋・桁接合部	高架下店舗屋根上 ※2	目地材(アスファルト系)	3	最大450×150×20他10個	コンクリートの温度収縮による影響で剥落したと推定	JR西日本	山陽新幹線	岡山・新倉敷
H24.1.6	高架橋・高欄	道路 ※2	モルタル片	未測定	500×100×20	補修箇所が劣化し、列車走行時の振動ではく落ちたものと推定	東京都	三田線	蓮根・西台
H24.1.9	ホーム・表面	線路内	モルタル片	5	200×50×40	凍上による劣化	JR東日本	北陸新幹線	長野駅構内
H24.1.19	淀川橋りょう・排水樋受部	道路 ※2	樋受部材(鋼材)	3	440×200	漏水による部材腐食及び列車振動によりボルトが破損、亀裂が進行したと推定	阪神電気鉄道	本線	姫島・淀川
H24.1.20	鳥越トンネル・天井部	線路内 ※1	コンクリート片	1	300×100×50	目地部の浮きコンクリートが振動により剥落したもの	JR東日本	東北新幹線	いわて沼宮内・二戸
H24.1.20	第6宮崎架道橋・ボックスカルバート天井部	道路 ※2	コンクリート片	19	最大150×160×75他数個	落下箇所上部の旧川内車両基地内における建物解体工事が原因	JR九州	九州新幹線	旧川内車両基地
H24.2.10	第1鋼管通り高架橋・スラブ水切り部	高架下駐車場 ※2	コンクリート片	2	90×100×40	鉄筋腐食に伴う膨張圧により剥離したもの	JR東日本	東海道貨物支線	川崎貨物・浜川崎
H24.2.20	長岡駅高架橋・桁受部	高架下店舗屋根上	コンクリート片	5	200×200×90	桁受け部と桁が接触したため	JR東日本	上越新幹線	長岡駅構内
H24.2.21	先石橋りょう・張出し部	道路 ※2	緩衝材(アスファルト)	1	最大150×80×20他数個	緩衝材の経年劣化と推定	JR九州	筑肥線	東唐津・和多田
H24.2.22	池ノ原トンネル・天井部	線路内 ※1	トンネル補修材(ポリマー材)	3	500×500×10	補修材の経年劣化と推定	JR九州	久大線	豊後中川・天ヶ瀬
H24.2.27	津荷坂トンネル・天井部	線路脇	モルタル片	76	最大700×400他32個	モルタルが漏水により縁切れし、付着力を失ったためと推定	JR西日本	紀勢線	紀伊田原・古座
H24.3.6	恵曾江架道橋・桁間	道路 ※2	合板	8	1,700×600×10	施工時に存置されていたコンパネが降雨により劣化したためと推定	JR西日本	福知山線	尼崎・塚口
H24.3.7	釜谷坂トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	1	200×170×20	凍結融解による剥離	JR東日本	羽越線	小岩川・あつみ温泉
H24.3.11	大和トンネル・天井部	線路脇	モルタル片	5	400×200×20	補修材が経年により剥離	JR東日本	磐越西線	津川・三川
H24.3.12	第2大谷地トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	9	400×250×60	地震の影響	JR東日本	東北新幹線	新白河・郡山
H24.3.20	中新城トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	7	700×150×50	地震の影響	JR東日本	東北新幹線	新白河・郡山
H24.4.1	第2豊沼高架橋・桁附帯の排水樋	高架下貸付用地 ※2	排水樋(塩ビ製)	11	3,200×Φ100	取付金具の腐食と強風の影響	JR東日本	京葉線	南船橋・新習志野
H24.4.2	館町第2高架橋・接合部	歩道 ※2	モルタル片	2	最大130×170×50他10個	目地過ぎて補修を行っていたため、温度伸縮の影響で一部が剥がれたと推定	JR西日本	山陽新幹線	三原駅構内
H24.4.5	下村架道橋・防塵版	道路 ※2	防塵版	21	1,830×900×1.6	強風(最大33.7m/s:気象庁岡山)の影響により取付ボルトが破断したためと推定	JR西日本	山陽線	瀬戸・上道
H24.4.8	蔵王トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	4	400×200×50	せめ部の劣化によるもの	JR東日本	東北新幹線	福島・白石蔵王
H24.4.12	第5羽田高架橋・横梁受部	高架下駐車場 ※2	コンクリート片	1	200×100×70	地震の影響	JR東日本	東北新幹線	水沢江刺駅構内
H24.4.12	なだれ覆い・側壁	線路脇	コンクリート片	4	300×300×20	凍害による部材の劣化	JR東日本	北上線	和賀仙人・ゆたか秋湖
H24.4.13	第二落合トンネル・天井部	線路内 ※1	モルタル片	1	150×150×10	凍結融解による剥離	JR東日本	山田線	大志田・浅岸
H24.4.13	切畑トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	1	700×600×10	凍結融解により脆弱化した箇所剥離	JR東日本	小海線	信濃川上・佐久広瀬
H24.4.26	高架橋・電柱支持部	道路 ※2	モルタル片	2	750×50×50	劣化により剥がれ落ちたものと推定	JR東海	東海道新幹線	品川・新横浜
H24.4.29	大江橋シールドトンネル・天井部	線路内 ※1	モルタル片	未測定	100×700×20	被覆用モルタルの経年劣化によるもの	横浜市	3号線	関内・桜木町
H24.5.7	箱ノ口トンネル・天井部	線路内 ※1	モルタル片	2	200×170×10	凍結融解による剥離	JR東日本	米坂線	羽前沼沢・伊佐領
H24.5.8	第二松川トンネル・側壁	線路脇	漏水防止材(塩ビ板)	1	740×1,810	繰り返しの列車風圧により塩ビ板が破損したもの	JR東日本	上越線	土樽・越後中里
H24.5.12	南無谷架道橋・橋マクラギ下	道路 ※2	パッキン板(プラスチック)	2	500×210×50	振動によりずれて落下	JR東日本	内房線	岩井・富浦
H24.5.15	大清水トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	48	670×250×100	せめ部の劣化によるもの	JR東日本	上越新幹線	上毛高原・越後湯沢
H24.5.15	矢賀第2高架橋・床版	高架下店舗屋根上	コンクリート片	1	最大200×160×40他2個	鉄筋の腐食・膨張によるものと推定	JR西日本	山陽新幹線	広島駅構内
H24.5.19	切畑トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	5	650×300×30	凍結融解により脆弱化した箇所剥離	JR東日本	小海線	信濃川上・佐久広瀬
H24.5.21	福山駅東部第2高架橋・高欄	線路内 ※1	吸音板	33	2,970×500×60	吸音板の支柱間が広く、支柱と吸音板固定部のかかりが浅かったためと推定	JR西日本	山陽新幹線	福山駅構内
H24.6.12	北鶴ノ木トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	1	200×130×25	補修材が経年により剥離	JR東日本	東北新幹線	一ノ関・水沢江刺
H24.6.12	高架橋・外壁	道路 ※2	化粧ボード	2	最大1,200×150×12	化粧ボードの経年劣化等による剥離	名古屋鉄道	名古屋本線	本宮駅構内
H24.6.15	小野高架橋・高欄	道路	コンクリート片	1	最大170×80×30他13個	鉄筋の腐食・膨張によるものと推定	JR西日本	山陽新幹線	厚狭・新下関
H24.6.30	鏡物節釣トンネル・側壁	線路脇	トンネル補修材(ポリマー材)	5	最大500×400×10他数個	補修材の経年劣化と推定	JR九州	久大線	豊後中村・野矢
H24.6.30	大又トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	13	300×200×50	せめ部の劣化によるもの	JR東日本	東北新幹線	くりこま高原・一ノ関
H24.7.19	高架橋・接合部	道路 ※2	アスファルト目地材	12	20×700×1,000	目地材の経年等による剥離	名古屋鉄道	豊田線	黒笹・三好ヶ丘
H24.7.19	広島駅高架橋・張出床板部	高架下施設 ※2	コンクリート片	28	最大550×580×3.50他2個	鉄筋の腐食・膨張によるものと推定	JR西日本	山陽新幹線	広島駅構内
H24.7.25	井出山トンネル・天井部	線路内 ※1	モルタル片	8	450×250×20	漏水による変状の進行と推定	JR西日本	芸備線	備後落合・比叡山

発見・通報 年月日	構造物名称・ 剥落部位	落下場所	落下物	推定 総重量 (kg)	大きさ (長さ×幅×厚さ) (mm)	推定原因	事業者名	路線名	位置
H24.7.29	金浦トンネル・側壁 (外壁)	社用地内	コンクリート片	2	最大180×80×2.50 他10個	目地部にひび割れが生じ、剥落したと推定	JR西日本	山陽新幹線	新倉敷・福山
H24.8.12	下りホーム・橋脚	道路 ※2	コンクリート片	1	最大170×200 他5個	温度伸縮によりクラックが発生したためと推定	JR西日本	阪和線	浅香駅構内
H24.8.22	小郡駅高架橋・高欄	高架下店舗 屋根上	コンクリート片	1	最大100×240×50 他3個	鉄筋の腐食・膨張によるものと推定	JR西日本	山陽新幹線	新山口駅構内
H24.9.6	備後トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	1	最大240×140×20 他3個	化粧モルタルにひび割れが生じ進行したためと推定	JR西日本	山陽新幹線	新尾道・三原
H24.9.22	のり面	線路脇	コンクリート片	3	500×500×20	凍結融解の繰り返しにより浮き部が拡大し剥落したものと推定	JR東日本	小海線	佐久海ノ口・海尻
H24.9.28	ホーム縁端部	ホーム下 ※1	モルタル片	30	最大600×260×30 他5個	ホーム先端タイル下部の化粧モルタルの一部が、経年劣化により剥落したものと推定	南海電鉄	南海線	難波駅構内
H24.10.4	県道架道橋・主桁 下フランジ部	道路 ※2	碎石落下防止金物の 留め金具	1	200×70	取付ボルトの劣化および溶接部の不良	小田急電鉄	小田原線	壘田・足柄
H24.10.4	町屋第7高架橋・ 縦梁下角部	歩道 ※2	コンクリート片	28	600×200×100	雨水等による鉄筋の腐食・膨張によるものと推定	京成電鉄	京成線	日暮里・新三河島
H24.10.11	高架橋・橋脚上部	高架下 ※2	コンクリート片	44	500×400×100	長年の列車荷重・振動により、橋脚の隅角部にかかる圧力でひび割れが発生し、剥離に至ったものと推定	阪急電鉄	嵐山線	桂・上桂
H24.10.17	下須頃高架橋・桁 付帯の排水樋	高架下社用地	排水樋 (塩ビ製)	27	4,000×φ100	支持ブラケットの腐食により落下	JR東日本	上越新幹線	長岡・燕三条
H24.10.22	長岡駅高架橋・桁 受け部	高架下店舗 屋根上	コンクリート片	4	400×200×80	桁受け部と桁が接触したため	JR東日本	上越新幹線	長岡駅構内
H24.10.25	開削トンネル・天井 部	線路横の資材 置場	モルタル片	未測定	最大400×480×50 他数個	補修箇所が劣化し、列車走行時の振動ではく落したものと推定	東京都	新宿線	菊川・住吉
H24.11.20	第2海部高架橋・桁 受け部下面	民家屋根上 ※2	コンクリート片	2	最大160×140×80 他2個	コンクリートの中性化による鉄筋の腐食・膨張に伴い剥落したものと推定	JR四国	牟岐線	阿波海南・海部
H24.12.11	坂井高架橋・防音 壁	線路脇	止め金具	3	50×1750×4.5	ボルト穴とボルトが齧ってボルトが破断したため	JR東日本	上越新幹線	長岡・燕三条
H24.12.12	新庄トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	2	300×300×20	化粧モルタルにひび割れが生じ進行したためと推定	JR西日本	山陽新幹線	三原・東広島
H24.12.14	ホームスラブ	ホーム下の り面 ※2	コンクリート片	3	最大150×150×30 他2個	コンクリートが鉄筋の腐食により剥落したものと推定	伊豆急行	伊豆急行線	河津駅構内
H24.12.15	開削トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	未測定	最大250×150×30 他数個	補修箇所が劣化し、列車走行時の振動ではく落したものと推定	東京都	浅草線	宝町・日本橋
H24.12.18	福島第2高架橋・ 受台	高架下施設	コンクリート片	2	最大175×165×25 他数個	鉄筋の腐食・膨張によるものと推定	JR西日本	東海道本線	大阪・塚本
H24.12.18	橋上駅舎・床版	社員通路	コンクリート片	1	150×100×100	鉄筋腐食に伴う膨張圧により剥離したものと推定	JR東日本	中央線	御茶ノ水駅構内
H24.12.19	塩沢トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	1	90×170×30	あと付けの補修モルタルが経年により剥離したものと推定	JR東日本	上越新幹線	越後湯沢・浦佐
H24.12.22	切畑トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	2	150×200×30	凍結融解により脆弱化した箇所との剥離	JR東日本	小海線	信濃川上・佐久広瀬

鉄道構造物における剥落事象の報告一覧(平成25年1月25日付事務連絡)(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

発見・通報年月日	構造物名称・剥落部位	落下場所	落下物	推定総重量(kg)	大きさ(長さ×幅×厚さ)(mm)	推定原因	事業者名	路線名	位置
H25.1.9	志戸坂トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	3	430×190×300	過去に表面処理を行った側壁の化粧モルタルが経年により剥離したものと推定	智頭急行	智頭急行線	あわくら温泉・山郷
H25.1.15	高架橋・側壁上部	道路 ※2	コンクリート片	6	400×250×80	劣化により剥がれ落ちたものと推定	JR東海	東海道新幹線	三島車両所
H25.1.18	大清水トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	25	350×170×50	せめ部の劣化によるもの	JR東日本	上越新幹線	上毛高原・越後湯沢
H25.1.24	第2有壁トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	1	180×100×30	あと付けの補修モルタルが経年により剥離あるいは落雪が当たったもの	JR東日本	東北新幹線	くりこま高原・一ノ関
H25.1.30	一関トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	2	300×100×50	導水工のモルタルが劣化したもの	JR東日本	東北新幹線	一ノ関・水沢江刺
H25.1.30	次新高架橋・柱	社用地内	排水樋(塩ビ製)	14	4,000×φ100	排水樋の止めバンドが腐食し排水樋が脱落	JR東日本	上越新幹線	燕三条・新潟
H25.1.30	第2田高高架橋・防音壁	道路、畑 ※2	コンクリート片	12	最大400×380×100他3個	防音壁の穴に水が溜まり、凍結膨張しコンクリートが剥離したものと推定	JR東日本	東北新幹線	白石蔵王・仙台
H25.2.1	第2浦安架道橋・張出し部	変電所内	目地材	5	400×250×25	桁端部の目地材が劣化したものと推定	JR東日本	京葉線	舞浜・新浦安
H25.2.2	高架橋・ホームスラブ	高架下自社関連事務所 の屋根上	モルタル片	10	最大100×100×60他数個	ホームスラブ下面のモルタルが経年により剥離したものと推定	東京急行電鉄	田園都市線	清の口・高津
H25.2.6	清水トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	30	最大600×330×70他9個	モルタルが凍結融解により剥離したものと推定	JR東日本	上越線	土合・土樽
H25.2.6	善知鳥トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	18	最大170×400×40他5個	漏水対策で設置した後付モルタルが凍結融解により劣化したものと推定	JR東日本	中央線(辰野線)	小野・塩尻
H25.2.7	第2高柳高架橋・水切部	社用地内	コンクリート片	9	1,150×100×50	高架橋高欄下部の水切付近のコンクリートが、鉄筋の腐食膨張により剥離して落下したと推定	JR西日本	山陽新幹線	岡山駅構内
H25.2.12	のり面・吹き付け	線路脇	モルタル片	2	200×150×55	雨水等の凍結融解によるものと推定	JR東日本	両毛線	桐生・岩宿
H25.2.14	大竹トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	5	480×180×60	トンネル接合部の化粧モルタルがひび割れ、部分的に剥れたと推定	JR西日本	山陽新幹線	広島・新岩国
H25.2.17	新神戸東高架橋・桁接合部	高架下駐車場 ※2	目地材(アスファルト系)	4	950×150×20	コンクリートの温度収縮による影響で剥離したと推定	JR西日本	山陽新幹線	新神戸駅構内
H25.2.19	東9線架道橋・床版下面	道路 ※2	コンクリート片	20	900×500×70	橋りょう施工時に異物が入り、不均一な状態の中、凍結融解により剥離に至ったと推定	JR北海道	千歳線	長都・千歳
H25.2.19	高架下・消雪ポンプ室 上家底部分	社用地内	コンクリート片	2	最大260×100×70他数個	経年によるひび割れ箇所から雨水が浸入し劣化が進んだものと推定	JR東日本	上越新幹線	新潟・新潟新幹線車両センター
H25.2.21	土倉トンネル・側壁	線路脇	コンクリート片	3	最大250×150×100他3個	凍結融解と結水除去作業により、剥離に至ったと推定	JR東日本	釜石線	上有住・陸中大橋
H25.2.23	阿知須架道橋・地覆	道路 ※2	コンクリート片	5	400×250×60	鉄筋が腐食膨張により剥離して落下したと推定	JR西日本	宇部線	阿知須・岐波
H25.2.24	第1落合トンネル・天井部	線路内 ※1	モルタル片	10	最大270×170×40他3個	凍結融解とつらら除去作業により、剥離に至ったと推定	JR東日本	山田線	大志田・浅岸
H25.2.25	第一外波トンネル・天井部	線路内 ※1	コンクリート片	2	最大150×200×30他11個	トンネル内ツラらが架線に接触したことで地絡が発生その際の衝撃により落下したものと推定	JR西日本	北陸線	市振・親不知
H25.3.1	豊実トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	3	最大230×220×30他3個	モルタルが凍結融解により剥離したと推定	JR東日本	磐越西線	豊実・日出谷
H25.3.3	高架橋・接合部	高架下社用地	コンクリート片	8	500×180×130	コンクリートが漏水の影響により剥離したものと推定	JR東日本	総武線	下総中山駅構内
H25.3.5	第1根岸トンネルと 擁壁の間・接合部	線路脇	コンクリート片	88	最大700×200×200他2個	コンクリートが雨水の影響により剥離したものと推定	JR東日本	武蔵野線	武蔵浦和・南浦和
H25.3.7	第三鹿谷トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	2	最大170×120×10他13個	トンネル壁上部にできた水の落下とともにモルタルの一部が剥離したと推定	JR西日本	高山線	猪谷・椋原
H25.3.8	頸城トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	2	最大250×100×30他11個	トンネル側壁下部の補修用モルタルが経年劣化により落下したものと推定	JR西日本	北陸線	能生・名立
H25.3.11	第2潮来架道橋・ハンチ部	高架下店舗屋根上 ※2	コンクリート片	5	最大330×170×100他数個	橋脚ハンチ部と高架下店舗鉄骨に迫りが生じたためと推定	JR東日本	鹿島線	潮来駅構内
H25.3.12	清水トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	89	最大1,050×550×50他2個	モルタルが凍結融解により剥離したものと推定	JR東日本	上越線	土合・土樽
H25.3.12	高架橋・柱	高架下社用地	排水樋(塩ビ製)	4	1,000×φ100	留め金具が長年の列車振動の影響により緩んだものと推定	JR東日本	東北新幹線	大宮・小山
H25.3.14	開削トンネル・側壁	線路内 ※1	コンクリート片	4	最大210×170×30他18個	漏水箇所の鉄筋腐食によるコンクリートの浮きと推定	東京都	三田線	御成門・内幸町
H25.3.18	五十島トンネル・側壁	線路脇	レンガ	1	110×90×60	レンガが凍結融解により剥離したと推定	JR東日本	磐越西線	五十島・東下条
H25.3.25	今宿トンネル・こ線橋の 接合部	線路脇	モルタル片	10	最大500×200×10他5個	モルタルが凍結融解により剥離したものと推定	JR東日本	奥羽線	袖崎・大石田
H25.3.26	樹塚高架橋・床版	高架下コンコース ※2	コンクリート片	2	最大140×110×50他複数個	高架橋高欄下部の水切付近のコンクリートが、鉄筋の腐食膨張により剥離して落下したと推定	愛知環状鉄道	愛知環状鉄道線	北野樹塚駅構内
H25.3.26	中居里高架橋・防音壁	保守用通路脇	コンクリート片	2	250×130×40	コンクリート内の鉄筋腐食	JR東日本	上越新幹線	高崎駅構内
H25.3.27	開削トンネル・側壁	線路脇	モルタル片	5	最大260×110×35他多数	漏水箇所の鉄筋腐食によるモルタル片の剥離と推定	東京都	三田線	本蓮沼・志村坂上
H25.3.27	切り取りのり面	線路脇	モルタル片	3	200×180×40	吹付モルタルの風化によるものと推定	JR東日本	総武線	飯岡・倉橋

※1:トンネル内及び橋りょう・高架橋上のうち、線路の内側に落ちた事象
 ※2:橋りょう・高架橋下のうち、一般の人が立ち入れる場所に落ちた事象